長唄 雛鶴三番叟（小鼓手ほどき用）

始メ　ツッチン、ツンツン、　1 2 3　ンイヤァ　チンツンツンツン

○タ、○○、　、、　タ○ハ○ハイヤァ

チンツンチンツン　おうさえ　おうさえ　喜び　ありや

ヤ　タ○ハタ○　打行キ　ヤ　タ○ハ○

スグ　チントテチントテチンチャン　ンイヤ　タ　ア　○ハ○ス○○

△ン　△ン　△△ン

ト、三番地　打行キ

時も夜明けの烏（からす）飛び　アト、合方ニナル

合方ノ最後　ドッチンチンテンチリチレツン、　ンイヤ　タ　ア　○　ハ　○ス○○

チリチレツン、　ツンテンチンチンテンチン　ンイヤ　タ　ア　○　ハ　○ス○○　イヤ　タ　ア　○　ハ　○　シ

ツゥーー、　○○　イヤァ　タ△

太鼓地アッテ

岸の姫松　目出度さよ　ンハヨ　ヨシ8　実に様々の

悪魔を払い　ハヨ　ヨシ8　寿福をいだき　ヨシ4　千秋楽には　ヨシ4

スス　タ○　チン　ン　ン　ン　ン　ン　ン　ン　ン　ス　タ　○　イヤァ　タ△　チャン

ヲトシ

スグ　段切（だんぎれ）

らく　ンイヤァ　タ△天　チチチテツツトン、チリトン　○　ハァ　○

けぇーえーれーえ　ツン、　ツン、　ンイヤァ　タ△天　チャン

天　ツン、

※この「イヤァ」という掛け声は一回目だけです。二回目は「ヤ」になります。

※「打行キ」とは同じリズムを繰り返し演奏し続けることです。

※「シ」に「○（まる）」で「シマル」。つまり遅くなる、ということです。

※「ヲトシ」はだんだん速くしていきます。これは実は始めての方には難しいです。ですから、最初はできなくても大丈夫。

記号の読み方

「△」は大鼓の音（基本的に「チョン」ですが「ス」という言葉に置き換えられたりもしています。「○」は小鼓の「ポン」という音です。

‖　△　△　△　△　タ　タ　○　○

※「ワリ」または「ワル」ともいいます。「チョォチョォタァタァチョォチョォトントン」と読みます。

ヲシ　‖　△　△　タ　○

※「ヲス」ともいいます。「スッタァスットン」とか「ツッタァツットン」と読み、これで2つです。

‖　△　△　△　○　タ　タ　○

※「スットンスタスタスットン」と読みます

2005 Mochizuki Takinojo all light reserved